



GREETING

ごあいさつ

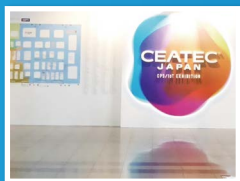
本年も、森本たかしNEWSをご愛読いただきありがとうございます。
今年4月に議員の任期が終了しますので、任期もあと3カ月となりました。
今年も引き続き、市政の課題の見える化に取り組んでまいります。

さくら会 森本 隆

自己研修報告①

CEATEC / パナソニックフォーラム

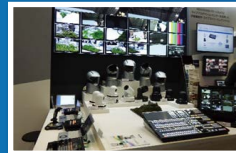
最先端技術の勉強に、CEATEC(旧エレショー)と100周年を迎えたパナソニックのフォーラムに行ってきました。100周年を機会に、『くらしアップデート業』を経営理念に掲げたパナソニックの自動運転サービスに興味を持ちました。若い経営者のベンチャー企業が自動運転、地域の交通サービス(Uber等)に取り組んでいるのを再発見しました。



自己研修報告②

国際放送機器展(Inter Bee2018)

監視カメラ、防災関連の地域情報サービス。西日本豪雨におけるNHK報道に関する報告(避難のきっかけは?)は、大変参考になりました。



避難のきっかけ

- ① 浸水等環境悪化
 - ② 消防等の呼びかけ
 - ③ 防災無線
 - ④ テレビ・ラジオ
- (NHKアンケート多い順)

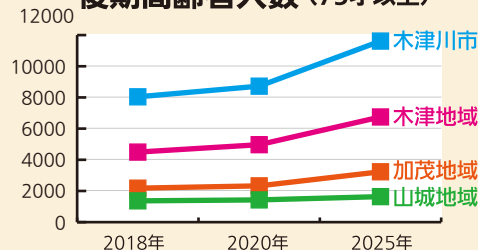
公共交通政策(コミュニティバス事業)を考える

コミュニティバスは、交通空白地域の解消を図るため、市町村が主体的に計画して運営しているが、民間事業者との路線調整が必要となるため、市民にとってはわかりにくい事業内容となっている。
近隣他市との比較を行ない、課題の見える化を実施した。

近隣他市との比較 (資料1)

	料金(円)	補助金予算(千円)年間	年間利用者(人)	補助金(円/人)	路線数	便数(平日)	年間利用回数(回/人)	バス(30人乗)	ワンBOX(9人乗)	予約型乗合タクシー	土・日運航	運行形態
京田辺市	最大260	45,000	-	-	-	-	-	○	-	-	○	民間運営
城陽市	150	53,000	208,089	255	2	71	2.7	○	×	×	○	自治体運営
精華町	100	29,760	75,669	393	2	8	2.0	○	×	×	○	自治体運営
生駒市	200	31,827	99,960	318	5	63	0.8	○	○	×	×	自治体運営
木津川市	200	76,290	261,359	292	14	168	3.4	○	○	○	△	自治体運営
木津地域	200	49,080	223,168	220	3	60	4.1	○	×	×	○	きのつバス
加茂地域	200	21,270	25,349	839	9	76	1.9	○	○	○	△	かもバス
山城地域	200	5,940	12,842	463	2	32	1.5	○	×	○	×	やましろバス

後期高齢者人数(75才以上)



現状

木津川市のコミュニティバスは、木津、加茂、山城地域の実情の合った運用(バス、ワンBOX、予約型乗合タクシー)をしており、近隣他市の比べて、バランスのとれた運用となっている。
しかし、今後の変化に対応するビジョンがない。もっと中長期を見越した視点が必要。

課題

- ① 第二次総合計画(2019年よりの10年計画)に、2020年以降に木津東バイパス開通後の交通ネットワークのビジョンが必要。現状は、現在の政策を継続するというだけであり、ビジョンがない。
- ② 2025年に、後期高齢者が現在より、木津、加茂地域で、1.5倍、山城で約1.2倍に増える予想。運転免許返納者が増える見込みの中、交通空白地域・不便地域の解消に向けた新しい施策が必要。

私の考え

- ① 木津東バイパス開通後、城山台の子ども・高齢者等が中央図書館等を利用しやすいように、きのつバスの路線延長が必要。
- ② 急激な後期高齢者の増加に対応した公共交通ネットワークの見直しが必要。
- ③ 今後のバス運転手不足を想定して、地域限定自動運転サービスの取り組みに早急に取り組むべき。

12月議会での質問 (一般質問)

質問 1 公共交通政策の取り組みを問う

Q 森本隆 市の公共交通に関する取り組みの成果と課題は。

A マチオモイ部長 平成29年度は前年度よりコミュニティバスの利用者が増加し、収支率も改善している。持続可能な公共交通体系の構築に取り組む。

Q 森本隆 資料1(表参照)議場での配布資料は、市の課題を数値化しようと思いましたが、結果的には、近隣他市として比較してバランスよく運用できていると考えているが。

A マチオモイ部長 地域公共交通の位置づけが相対的に低下し、輸送人員の減少に歯どめがかからない状況。交通弱者にとって貴重な外出機会であり、持続可能性をしっかりと確保していきたい。

Q 森本隆 現実的には、路線を維持するのが精一杯ではないかと思う。路線、便数を守るために、もっと市民の方に使っていただけるとかなアピールを増やす考えは。

A マチオモイ部長 いわゆるバス停のネーミングライツや、標語を募集し、741件の応募があった。一人でも多くの方が、できるだけ公共交通を利用しようと心がけたい。持続可能な公共交通への一つの道だと考えている。

Q 森本隆 木津東バイパスが開通後に、コミパスの城山台小学校から中央図書館へのバス路線延長が必要と考える。現在は、城山台小学校から中央図書館へ行く市民の足が確保されていない。他の地域は確保されている。兜台、相楽台の方は、奈良の北部図書館の利用が始まり、地元の方には大変喜ばれている。この提案についてはどうか。

A マチオモイ部長 市全体の交通体系の見直しが必要である課題と考える。

Q 森本隆 限定地域での無人自動運転配送サービスを2020年には実現し、2021

年以降、サービス地域の拡大を図りたい(国土交通省)。このような新しい取り組みについてどのように考えているのか。

A マチオモイ部長 安全性の確保が大前提だが、可能であれば導入に向けた検討をしていくことも大切だと思う。

Q 森本隆 自動運転の配送サービスなどの新しい政策を、具体的に示すべきだと思うが、市長の考えは。

A 市長 バス運転手の不足による民間バスの撤退などの事例も聞いており、今後はバスやタクシーなど完全自動走行になる運営も十分に検討の余地があると思うが、この10年の総合計画の中には、具体的な数値や施策まで盛り込めていない。時代に応じて、早い段階で民間も参入していただき、交通手段を確保することも大事なことだと思っている。

Q 森本隆 災害発生時における避難情報の市民への伝達手段と現状の課題について。

A 総務部理事 防災行政無線や広報車両での呼びかけ、メール、ホームページ、データ放送での避難情報等の発信、また、地域の連絡網を用いて、電話連絡にて避難を呼びかけている。課題は、避難所への避難、啓発を重ねる必要がある。

Q 森本隆 災害が発生したときのBCP(Business continuity plan「事業継続計画」)の内容と課題について。

A 総務部理事 災害を想定した上で、優先すべき業務や人員の配置など、最低限必要な機能を確保できるよう、業務継続計画に明記している。外部に依存するライブラインの復旧や通信



カモバス(9人乗り路線)



きのこバス(約30人乗り)

質問 2 災害対応の取り組みを問う

Q 森本隆 災害発生時における避難情報の市民への伝達手段と現状の課題について。

A 総務部理事 防災行政無線や広報車両での呼びかけ、メール、ホームページ、データ放送での避難情報等の発信、また、地域の連絡網を用いて、電話連絡にて避難を呼びかけている。課題は、避難所への避難、啓発を重ねる必要がある。

Q 森本隆 災害が発生したときのBCP(Business continuity plan「事業継続計画」)の内容と課題について。

A 総務部理事 災害を想定した上で、優先すべき業務や人員の配置など、最低限必要な機能を確保できるよう、業務継続計画に明記している。外部に依存するライブラインの復旧や通信

手段等が途切れた場合の対応など課題も残っており、速やかに対応できるよう努めている。

Q 森本隆 災害復旧計画において、被災者支援策(税の減免、見舞金支給等)の考え方や具体内容について。

A 総務部理事 復興の一助としていただくよう、木津川市災害見舞金支給要綱を制定している。災害火災による全焼・全壊に対し10万円/世帯、半焼・半壊に対し5万円/世帯、水損や床上浸水に対し2万円/世帯を支給。

Q 森本隆 南海トラフ地震の事前情報で危険がある場合に避難指示を出すす報道で聞いているが、これに関する法的根拠は。

A 総務部理事 地震が起きるかわからない段階での避難指示は、市としては考えていない。

Q 森本隆 避難の指示について、いろいろとリンクがあるが、要はこれが最後の指令だということを知り伝える必要があると思う。もっと特別な対応が必要ではないかと思うが。

A 市長 自分は大丈夫だろうと危険に対して過小に評価してしまう習性があり、人は逃げないということを知っておかなくてはいけない。市長自らが防災行政無線で生の声で、危険が迫っていることをいかに伝えるかというのが、一番大切なことだと思っている。

自己研修報告③

北海道胆振東部地震



10月に、北海道厚真町に行ってきました。地震の復旧はこれからという時期でしたが、広い町(405km²、木津川市の約5倍)で、人口約5000人なので、平日にもかかわらず、復旧作業されている人が少ないのが、印象的でした。



編集後記

市議会では、今年4月の選挙に向けて、議員定数削減(22人→20人)条例を可決しました。私は、前回の様に、「無投票選挙にはしない」。行財政改革の観点からも定数削減に賛成しました。



森本 隆
[もりもと たかし]
プロフィール

無所属 さくら会派所属

http://takashi-supportclub.jimdo.com/
morimoto077473@clock.ocn.ne.jp



HP開設中

主な活動履歴

- 兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)
- 東日本大震災「はじめの一步コンサート」を主催(2011年から5回実施:於 高の原)

[家族] 妻と一男一女 [趣味] 写真撮影、旅行、ゴルフ

1959年 大阪府生まれ(59才)
1997年から兜台7丁目在住
大阪府立茨木高等学校卒業
京都工芸繊維大学 機械工学科卒業
元パナソニック(株)社員 [勤続32年・2015年退職]